

# SSKS

## 働こう障害者も 働けるんだオレたちも こぶしだより

企 画：社会福祉法人 こぶしの会  
発行責任者：藤田勝春  
編集責任者：田澤幸子  
発行所：障害者団体定期刊行物協会  
(〒157-0073)  
東京都世田谷区砧6-26-21  
定価 100円



セルプ・みらい 石田 康夫

### もくじ

- ①特集「座談会」…………… 2・3・4 ページ
- ②仲 間…………… 5 ページ
- ③保護者…………… 6 ページ
- ④トピックス…………… 7・8・9 ページ
- ⑤掲示板…………… 10ページ

### 社会福祉法人 こぶしの会

- 法人事務局 こぶし作業所・生活支援センター ☎321-0902 栃木県宇都宮市柳田町1401  
TEL 028(662)1911 FAX 028(662)1912
- けやき作業所 ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井2244  
TEL 028(687)1040 FAX 028(677)5789
- デイサービスセンター
- セルプ・みらい ☎321-4363 栃木県真岡市亀山1043-23  
TEL 0285(81)1155 FAX 0285(81)1177
- 第2けやき作業所 ☎321-3303 栃木県芳賀郡芳賀町稲毛田1532  
TEL 028(677)0495 FAX 028(687)4818  
TEL 028(687)0311
- グループホーム こぶしのときわ荘 ☎321-0954 栃木県宇都宮市元今泉6-14-20  
TEL 028(662)5533
- グループホーム すずらんの家 ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井2305-2  
TEL 028(677)4430

## 支援費制度がスタートします。

— 申請の準備の中で学習を： —

### 来年平成一五年四月一日から、措置費制度から支援費制度に変わります。

社会福祉法人こぶしの会としても、来る八月三十一日に保護者会と共に支援費制度の学習会を開きます。

支援費制度実施については施設側だけでなく、制度の窓口となる市町村も十分な準備期間も無いままの不安な船出になりそうです。

まして、利用者や家族への説明も丁寧さを欠き、障害を持つ人が主体となるという制度の主旨も怪しいものになってきています。そんな中で、こぶしだより編集部もこの支援費制度の概略を特集することにしました。

すでにさまざまレベルで制度の解説が行われていますが、こぶしのサービスを受けているみなさ

んにも分かりやすく解説できたら幸いです。

#### 支援費制度のめざすもの

さて、そもそも支援費制度は戦後営々と続いてきた措置費制度が現在の障害者をめぐる環境になじまなくなってきたというところで登場してきました。「措置」という言葉は特に、精神障害者の「措置入院」にみるように「お上が強制的に施設入所を決定してしまふ」という印象が強いものでした。

はたしてそうなのかという追求は次の機会に譲るとして、今回の制度「改革」には障害者分野の黒船といわれた「国際障害者年」移行の国際的

な障害者リハビリテーションの理念の影響を受けた部分もあり、制度開始が避けられない今、積極的な部分を大切にしながら、改善しなくてはならない部分も明らかにして、よりよいものにしていく方向を考えることが大切かと思えます。

では、制度の中で私たちが活かしていかなければいけないところ。今回は、厚生労働省のつくったパンフレット「支援費制度がはじまります」を片手に制度のねらいについてまとめましょう。

パンフレットは目指すものとしてその特徴を説明していますが、大きく三つほどあると思います。

一つ目は、制度を利用者の立場に立つてつくりかえること。

二つ目は、利用者の望む、質の高い福祉サービスの充実です。

三つ目は、障害者が普通の暮らしを生まれた地域でできるように、市町村が主体の制度に変えることです。

具体的には

一つ目の「利用者の立場に立った制度作り」という点では、

支援費制度は措置費制度とことな

り、利用する人たちが自分で選んだ福祉サービスを、そのサービスを提供する事業者と対等・平等の関係で契約書を交わすという形で利用することになります。自己決定、自己選択が制度の基本となっており、後に触れる相談、申請、契約など手続きの中で本人主体が貫かれます。

しかし、全ての契約がそうであるように、消費者（利用者）の方が提供者より立場が弱いものです。特に、障害のある利用者にとっては福祉サービスの内容や契約内容などの情報が分かりづらかったり、サービス内容に不満があってもいえない場合が多いと思います。そのため、利用者の立場で契約等を援助する制度をつくりました。

例えば、障害者本人が変わって契約や、不当な事故の解決をする成年後見制度。成年後見制度を利用しやすくするための福祉サービス援助事業（もよりの社会福祉協議会にご相談下さい。）福祉サービスに不満が大きくなった場合の苦情解決システム（全ての福祉サービス提供事業者が設置・広報しなくてはなりません。）それでも解決できない場合の運営適正

① 特集

化委員会（栃木県社会福祉協議会に設置されています。）など様々な権利擁護機関が用意されています。サービスの利用にあたっての情報は市・町・広域の福祉事務所が責任を持って用意することになっています。

二つ目は、「利用者の求める質の高い福祉の充実」です。

相談事業やデイサービスセンター等が社会福祉事業としてあらたに加わりました。

また、長い間の懸案事項であった養護学校を卒業した障害者の作業所が認可し易くなり、1億円の財産が必要だった社会福祉法人の認可も緩和されました。将来は企業も障害者福祉に参入することができるようになると考えられており、多様な事業体が競争し、質が高く、多くの福祉サービスが広がると期待されています。

三つ目は、「地域福祉の推進」です。障害者が生まれた地域で普通の暮らしをし、自分の力を存分に発揮できることこそ社会福祉の目指すところです。そのためには、国が一元的

に福祉制度を決めていくのは利用者の実態に合わないという問題を長く抱えてきました。

支援費制度は、障害者福祉事業の実施主体を市町村に委譲し、福祉サービスが一気に身近なものになると言われています。

具体的な利用の手続きはこのようになります

基本的には市、町役場で相談することが大切です。

また、具体的な利用手続きは、申請→支援費支給の決定→契約→利用→再申請（支援計画の見直し）→再利用、という順序になります。一つひとつ順番に大切な点をチェックしていきましょう。

一. 申請

まず、どんな社会資源があるのか相談して下さい。

市・町の役場か相談支援センター（宇都宮市の場合は泉ヶ丘作業所または、こぶし作業所。芳賀郡の場合は真岡ハートビルズや光喜舎。県東ラ

イフサポートセンターでも受け付けます。）こんな事が困っている。こんな手助けがあればもっと暮らしやすくなる。という視点で施設サービス（こぶし作業所など施設全般）や居宅サービス（作業所を利用して人はいく調べて下さい。

ホームヘルプ：ガイドヘルプもできます。ショートステイ、グループホーム、デイサービスセンター：土日の生きがい活動をやっているところもあります：等があります。）を提

供する事業所の情報をよく調べて、自分にあつたところを選びましょう。

● 必要なサービスが決まったら市・町役場に利用の申請に行きましょう。

二. 支援費支給の決定

● 申請を受け付けたら市・町は障害者本人や家族をはじめとする生活環境を調査し、勘案事項（本人の意見・生活目標、家族の介護状況、地域の生活環境、障害の程度等）を聞き、支援の内容・期間と支援費の額

（障害程度によって支払われる額が違います。）、利用者負担額を決めます。本人の希望する生活や自立生活をする際の生活のしづらさを詳しく伝えることが大切です。

【注意】

◎こぶしの会のサービスを現に利用している皆さんは、制度開始にあたって特例として以下のように申請手続きをします。

勘案事項の調査は各所属の施設で行います。こぶし作業所、けやき作業所、セルプ・みらい、今年中に行います。その他の居宅支援（けやき作業所デイサービスセンター、こぶし）のときわ荘、すずらんの家、けやきハイツ：一〇月開設予定）は来年度に入ってから調査しますので時間・場所については追ってご連絡します。

● 支援費の支給が決まると支援費の受給者証が発行されます。

この受給者証には障害の程度や支援費の支給期間や利用者負担額が書

いてあります。内容に疑問があれば市、町役場に相談して下さい。

### 三、契約

● さあ、受給者証をもって自分の選んだ(必要なサービスを提供する)事業所を訪問しましょう。

● サービス内容(契約書に書かれてあります。)をきちんと確認して契約を結びましょう。

自分自身(障害者本人)の目標をハッキリ伝え、具体的にどんな援助をしてもらえるのかを話し合ってください。

### 四、利用

● 契約後、はじめて自分の望むサービスが受けられます。

● また、定期的(作業所は三年ごと。デイサービスセンターは一ヶ月を単位に、グループホームは三年以内)に、利用しているサービスを継続して利用することが適切かどうかを見直します。

継続してサービスが必要であれば延長の手続きをします。

更新の手続きは一定の時間がかかりますから契約の切れる直前だと利

用できない場合もでてくるので注意して下さい。

以上ですが、大切なことは、支援費決定の調査です。

今回は、所属の施設等で勘案事項についてあらかじめチェックしておきますが、利用者ご自身や家族の方も「もし一人暮らしをするとしたらどんなことが不自由か」という視点でチェックをしておいて下さい。

また、利用者本人の考え方、感じ方が一番重要になってきます。本人を交え、その意見に耳を傾けて下さい。

### わたしたちは制度「改革」をどう受け止めたらよいのでしょうか

障害者福祉の貧しい現実の中で…

支援費制度の中身と手続きの概要を説明してきましたが、ここで、この制度実施にあたっての問題点にも触れ、今後の障害者福祉の課題も簡単にまとめておきましょう。

一つ目の利用者の望む、質の高い福祉サービスの充実ですが、セル

プ・みらいの建設運動を例に挙げるまでもなく、障害者の進路一つとっても家族みずから作業所を必死にたつてつくらなくては解決のつかない実態があります。

無認可作業所が六〇〇ヶ所を超え法定の授産施設以上の役割を果たしていることをどう考えたらよいのでしょうか。

半数近くの市町村には法定施設のみならず無認可の作業所すら存在していないのです。「社会資源がない。」からという理由で障害者の願いは窓口で閉ざされる可能性の方が大きいのです。

障害者が普通の暮らしを生まれた地域でできるようにと、実施主体が市町村に移り、きめ細かい施策の実施が期待されていますが、高齢化・過疎化、長引く不況の中での税収悪化など、財政のひっ迫した自治体はサービスの値切りさえしなくてはならないこともでてくるのが予想されます。

こうした資源不足の中で、対平等の関係を標榜しても、実際は事業者の意に添わない利用者は切り捨てられる可能性さえありそうです。

### こぶしの会の理念を変えることなく本物の社会福祉を

さて、こぶしの会は、障害者が主人公の施設づくり、後援会を中心とした地域の人々や家族・職員が対等平等の立場で「みんなで作る作業所」を運営の柱としてきました。こうした理念は新しい制度の中でどう対応していくことが求められているのでしょうか。「後援会活動で職員・親は大変。こんなこぶしの会は利用者から選択されるのだろうか。」「物事が契約でがんにがらめにされ職員は利用者の要求を突きつけられるだけなのか。」など、新制度にむけて危惧の声があがっています。

ここでは結論を述べるのではなく、支援費制度はこぶしの会の理念の試金石と位置づけ、支援費制度に対する大きな議論が巻き起こることを期待して今回の特集を終わりたいと思います。

## こぶし作業所 キャンプ

こぶし作業所では、去る八月二日(金)～三日(土)、足尾町・銀山平にて、毎年恒例の夏季キャンプをおこないました。キャンプには利用者一七名、保護者七名、職員七名、ボランティアさん九名の計四十名が参加しました。

例年同様、今年のキャンプも、利用者が企画・実行することをモットーとし、実行委員が中心になって事前の準備を進めてきました。毎週一回会議を開き、スケジュールや場所、やりたいこと等を話し合い、キャンプ場の下見にも実行委員全員で行ってきました。

また今回のキャンプではボランティアさんに一対一で仲間についてももらい、コミュニケーションをより深くとってもらえる体制をとりました。このことよって作業所の仲間は新

しい人間関係の構築ができ、より積極的にキャンプに参加することができると考えたからです。

当日は快晴、まさにキャンプ日和！

我々の願いを知ってか知らずか、太陽が「これでもかあ！」というくらい輝き、澄み切った青空が広がっていました。この天気よさに実行委員みんなで胸をなで下ろしていましたが、この後悲劇が待っていることを誰も予想することができませんでした。参加者全員の集合が完了し、いざ出発。日光・宇都宮道路を経由し、キャンプ場がある足尾町に到着するや否や「豪雨」・・・(涙)。女心と秋の空・・・もとい夏の空。山の天気は移ろいやすく、恐ろしいものですね。この後のスケジュールは大幅に変更となってしまいました。とりあえず、各バンガローに分かれて昼食をとることにしました。雨が止むのを願いながら皆待っている、数十分後、雨もなんとか上がったので、急いで入村式。入村式では、横山実行委員長の挨拶、今後のスケジュール等の説明をおこない、その

後、各班に分かれてチーム対抗のゲームをおこないました。こぶし作業所のキャンプではカレーコンテストというものをおこなう伝統があり、

代替プログラムを考えていなかったことに反省しきり。

今年はそのカレーの具材をチームに分かれてゲームで奪い合うという方式をとりました。中には「こんなもの入れるの!？」というような具材もあり、変なものを食いたくないという一念からか、皆必死になってゲームに参加し、大いに盛り上がることができました。具材決定後は各班に分かれて調理。利用者、職員、ボランティアさんが協力し合い、おいしい(?)カレーができあがりしました。審査は七名の保護者の方におこなってもらい、その結果、みごとC班の豚カレーが優勝。表彰式では釜井審査委員長から各班の代表者に表彰状の授与がおこなわれ、皆うれしそうにそれを手にしていたのが印象的でした。夜になると雨が再び強く降ってきたので、当初予定していたキャンプファイヤーも中止せざるえなくなり、歓談の後、各バンガローに分かれて時間を過ごすこととなりました。実行委員としては雨天時の

翌朝は保護者の方にも手伝っていた、後片付けの後、後ろ髪を引かれる思いでキャンプ場をあとにすると、その足で霧降高原の大笹牧場に向かいました。(途中、一台だけ筆者運転のワゴン車が迷子になってしまいましたが、なんとか合流することができましたが、なんとか合流することができず、一人のけが人も出すことなく、皆無事に帰路に着くことができました。

百点満点のキャンプだったとは言えませんが、参加者の皆さまに楽しいキャンプだったと少しでも思っていただければ幸いです。また、今回ボランティアで参加してくださった、中央福祉医療専門学校のみな様、マロニエ医療福祉専門学校のみな様、宇都宮市社協からご紹介のありました川久保様、職員の友人の鈴木様、この紙面を借りて深く感謝申し上げます。

(佐々木)

# おむすび

保護者  
リレートーク

今回はけやき作業所の水沼のぞみさんのご家族の登場です。

〈小さい頃はどうか？〉  
小さい時は動かなくておんぶが好きで笑うのをガマンしてました。三才から延生幼稚園にバスで通いました。年少位だと他の子はバスに乗るのを嫌がりませんが、のぞみは抵抗なくスムーズに乗っていました。幼稚園では集団生活が始めてで良い経験をしました。

〈学校時代はどうでしたか？〉

真岡西小、情緒学級に一年間通いました。じつとして動かない子供だったのが、運動のために福田屋から母親と歩きました。一年生からは普通の子と触れ合うために近くの水橋小に通いました。二年生からは、り合いが増えて今でも「のぞみちゃんだよね」と声がかかります。大変だったことは三・四年の時の運動会で、会場を走り回る様子を友達と一緒にハラしていました。しかし五年の運動会では、マスメージックを友達と一緒にねでも一緒に覚える姿をみて、運動会も期待しましたが、直前に盲腸にかかり残念ながら見学になってしまいました。



〈将来の夢は？〉  
グループホームで生活できれば良いと思っています。のぞみは今二五歳ですが三〇歳になったらグループホームに入ると言っています。就労

に乗りました。運動会では、司会を担当したり青年の主張では親も驚く位立派に発表しました。  
高校は栃木養護学校に通いました。そこでは寮生活を経験しましたが、四人部屋でしかも多動の方と一緒にいることで落ち着かず週末に帰ってくる。寮では「寝れない」とグチをこぼしてました。九時には消灯の時間にも厳しかったようです。良い思い出としてはマラソン大会で一位になったことです。

〈けやき作業所に入ってから？〉  
いろんなことができるようになった。年齢の人がいて、そこから学ばれた仕事に對しての集中力が養われたからだと思います。最近では親の話してることがわかるようになってきたように思えます。小さい時は何でものんびりでしたが、今では食事が早くなり農作業も責任をもって行うの任せられるようになりました。

## 9月こよみ

### 全体

9月9日(月) 利用者支援費制度学習会  
(こぶし・けやき・みらい)

25日(水) 支援会議

### こぶし作業所

9月5日(木) 職員会議  
7日(土) 保護者・利用者・職員交流会  
12日(木)~18日(日) 夏期休暇  
19日(木) 保護者会臨時総会  
19日(月) 支援会議

### サポートセンター

9月4日(水) カラオケDAY  
支援会議  
8日(日) 日曜開所  
19日(木) 職員会議

### けやき・けやきデイサービスセンター

9月14日(土) 職員会議

### セルブ・みらい

9月7日(土) 職員会議・支援会議  
9日(月) 利用者支援費制度学習会  
19日(木) 支援費制度に関わる市町村聞き取り調査  
(芳賀・二宮・益子)  
20日(金) 芳賀郡市施設職員交流会

### 第2けやき作業所

9月4日(水) 支援会議

も会社に入れたら良いと思います。他人とのコミュニケーションが難しいところはありますので、しばらくはけやき作業所に通ってもらいたいですね。  
お忙しいところ取材にご協力いただきましてありがとうございます。

僕たちのこと  
もっと知ってほしい!

## ボランティア大募集

けやき作業所では、作業・創作活動・GHなどで、利用者さんとの交流をして下さる方を大募集!

興味ある方は、まず連絡を!

けやき作業所  
028-687-1040

## こぶし作業所 ボランティア大募集!

1. 日曜作業所
2. 二荒山バザー

お気軽に  
どうぞ

お問い合わせ こぶし作業所  
☎028 (662) 1911

身近な国際交流

こぶし作業所の国際化

ボランティアさん来たる

こぶし作業所では、月曜日と金曜日の午後、日系ブラジル人のマルセルさんがボランティアにきてくださっています。

マルセルさんは、本年度一年間、宇都宮大学の国際学部で語学研修にきています。大学から自転車でごぶしままで、仲間と新しい出会いに毎回びっくりしています。ボランティアに先立ち、こぶし、けやき、みらいの各施設を見学して回りましたが、こぶしの仲間の関心と話題は、ワールドカップでした。ブラジルが優勝したので、日本を応援していた仲間も、「ほく、ブラジル応援していたよ」とアピールしていました。仲間達は、一生懸命話をしようと貪欲でした。

マルセルさんは、早速下請け班のベアリング作業にはいり、「すごいですね!」と仲間の仕事ぶりに感動してい

ました。また、石鹸の製造販売班では、普段職員が声をかけても仕事に気が乗らない仲間が、マルセルさんと一緒にやり始めたら大量の仕事をこなしてしまい、班長さんや副班長さんから評価されていきました。本人も「ガッツポーズ」をマルセルさんと交わしていました。マルセルさんは、ブラジルの気候になれているので、暑い宇都宮の天気には抵抗がなかったようですが、これから迎える冬の寒さが心配のようです。また、先日には富士山に登ってきたり、ふるさと宮まつりに出かけたたり、日本の文化にも浸かっています。皆さんも、マルセルさんと国際交流しましょう!

障害者の働くこぶし作業所

第25回 チャリティバザー

2002年10月13日(日) 午前9:30~  
二荒山神社境内 雨天20日(日) 午後3:30

◆主催◆  
第25回こぶし作業所チャリティーバザー実行委員会

こぶし作業所 TEL 028(662)1911  
FAX 028(662)1912

品物提供にご協力ください!!

ボランティア同時募集

バザー準備日程

9/24(火)~10/12(土)バザー品整理・値付け・古物の整理など  
10/1(火)~10/12(土)回収(10/5・6・12が集中日)  
10/12(土) 梱包など当日の準備(8:30~17:00)  
10/13(日) 販売など当日の要員(8:15~17:00)

◎ご連絡いただければ回収日にこちらからうかがいます。  
◎準備の都合上10月9日頃までにご連絡いただければ幸いです。

ボランティア大募集

箱折り、リサイクル  
作業  
弁当配達のお手伝い  
作業ボランティア  
...etc

☆仲間と一緒に  
楽しい時間を過ごしましょう☆

セルフ  
みらい



きょうされん賛助会員募集!!

賛助会員になると

- ①福祉の新しい動きがわかる。
- ②「TOMO」が購読できる。その他盛り沢山!  
賛助会費は1口3,000円です。

事務局：けやき作業所 TEL 028(687)1040まで

県東ライフサポートセンター納涼祭

真夏のひとひらきをみんなで楽しみました

七月二十六日（金）、午後四時半から八時まで県東ライフサポートセンターにおいて七月の地域交流行事、「納涼祭」が盛大？に行われました。

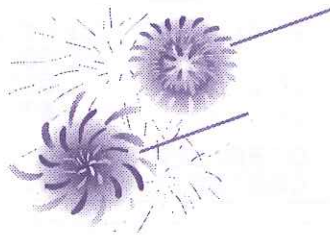
この日は夕方を過ぎても涼しくならず、これぞ夏！というような暑いあついでしたが、地元芳賀町はもちろん市貝・益子・真岡・烏山・宇都宮の方まで一四名の皆さんが参加してください、また烏山台病院の作業療法士さんもおふたり、けやき作業所・第2けやき作業所のスタッフも参加してくれて総勢二十四名でにぎやかに盛り上がりました。

最初は昔懐かしい駄菓子をはおぼりながらUNOやトランプをはじめとしたカードゲームを楽しみ、じゃんけんチャンピオンやイス取りゲーム（人間

バスケット）では、皆童心に返って汗をかきながら笑いあいました。ゲームに少し疲れたところでい로운な薬味を楽しみながら、参加者みんなで和気あいあいとお腹いっぱいそうめんを食べ、食後には豪華？な商品をめざしてビンゴ大会で盛り上がりました。そして納涼祭の最後を飾ったのはスイカを食べながらの花火でした。線香花火にそれぞれの思いを寄せて・・・真夏の夜の思い出を作りました。

今回の納涼祭ではスタッフと一緒にメンバーさんたちが企画から当日の準備・進行までを手伝ってくださり、こ

れまでの地域交流行事よりも参加者の皆さんに楽しんで頂けた中身の濃い行事になったように思います。今後も地域の方に親しまれ、楽しんで頂ける行事を提案し実施していけるよう励んでいきたいと思えます。



Fujisaki Printing

藤崎印刷株式会社

〒321-0111 栃木県宇都宮市川田町834-1

TEL : 028-633-4530 FAX : 028-633-4516

E-mail : fff@olive.ocn.ne.jp

明日の包装を創造する HEIKO マークの包装用品

ハイコーパック 株式会社

代表取締役 鈴木 健夫

本社 芳賀町祖母井1702-1  
工場 (芳賀消防署隣)

8(028)677-0214(代)



# セルフ・みらい後援会 「みらいの会」結成される

## 去る八月三日(土) セルフ・みらいの後援会「みらいの会」が結成されました。

この会は、もともとあった社会福祉法人こぶしの会の作業所をつくる会「みらい」が、法人と共にこの4月にセルフ・みらいを創り上げたことにより発展解消し新たにセルフ・みらいの後援会として再結成されたものです。

セルフ・みらいの運営を財政的に援助するとともにセルフ・みらいと地域との連携を図ることを目的に活動が行われます。セルフ・みらいを2年間で創り上げた素晴らしくたくましいパワー、セルフ・みらいにも頼もしい応援団ができました。

あなたも「みらいの会」に入会しませんか? 会費 年額三〇〇〇円 (口数は問いません)

郵便振込み

名義 「みらいの会」

口座番号

〇〇一四〇一九一五五八八四六

## 富弘美術館を訪ねて

第二けやき作業所、県東ライフサポートセンターで群馬の富弘美術館に出かけました。

一歩中に入ると数々の名画が展示して有り目を奪われる物ばかりでした。彼の生に対する意気込みが感じ

られる作品ばかりでした。絵筆を口や足を使いながら描いた作品は、どれをとっても感動せざるを得ない物ばかりでした。

また彼が頸髄を損傷し手足の自由を奪われながら、よくあんなにきれいで繊細な作品を完成させたことを考えると、見る者に感動と勇気を与えずにはいられません。私が特に感動したのは、壁に描かれた彼が頸髄損傷後に初めて書いた大きな字でした。

この辺で彼のプロフィールを紹介したいと思います。

一九四六年 群馬県勢多郡東村に生まれる。

一九七〇年 頸髄を損傷し、群馬大学病院に入院。

一九七二年 口にくわえ字を書き始める。

一九七五年 からは絵を書き始める。

一九七九年 前橋で最初の作品展を開く。

一九八一年 春結婚。

皆さんも休みの日など時間があつたら一度訪れてみてください。きっと感動すると思います。

(第二けやき作業所 加藤)

## 後援会会員拡大にご協力を お願い致します

後援会では各種事業活動に取り組んでおります。

- こぶし作業所 ☎028(662)1911
- けやき作業所 ☎028(687)1040
- セルフ・みらい ☎0285(81)1155

## 休日を利用して

体験ボランティアしてみませんか?

○第2けやき・ライフサポートセンターは、なし畑に囲まれたのどかなととてもよいところですよ! ☆

☆第2けやき作業所

☆県東ライフサポートセンター ☆



● 掲 示 板 ●

# こぶしだよりに 広告を載せて みませんか？

こぶしだよりはあなたとこぶしの会をつなぐホットライン

こぶしだよりは、社会福祉法人こぶしの会が発行する機関紙です。  
こぶし作業所、けやき作業所、セルプ・みらいで行う事業、福祉情勢、  
利用者のナマの声、家族の想いを「こぶしだより」で伝えます。

**こぶしだより協賛広告は一口5,000円から。  
名刺大で掲載させていただきます。  
年間掲載は42,000円 とってもお得！**

お問い合わせ	
こぶし作業所	028(662)1911
けやき作業所	028(687)1040
セルプ・みらい	0285(81)1155
ライフサポートセンター	028(687)1311

**おいしい・・・  
セルプ・みらいの  
日替りお弁当 1個 500円**

**大好評ご予約承り中！！**



おいしさをお届けします

お問い合わせ  
**セルプ・みらい**  
TEL 0285(81)1155  
FAX 0285(81)1177

**けやき作業所  
にこにこパン屋さん**

手づくり、焼きたての  
おいしいパンです。  
例えば、あんパン100円  
**人気商品** ホテルブレッド440円

各種豊富に取りそろえて  
おります。注文票をFAX  
にてお送りしますので、  
お気軽にご連絡下さい。




**にこにこパン屋さん**  
TEL・FAX  
028(687)1788へどうぞ。